



Editor

クイックユーザーガイド

Editorは弊社サーモグラフィ製品THG-02で撮影された画像ファイルの一元管理、画像の調整、温度分析、簡易レポートの作成ができるWindows PC用ソフトウェアです。

CUSTOM

240101

目次

1. アプリのインストールと起動

2. ソフトウェア「Editor」使用方法

2-1 ライブラリ

- ・ クイックアクセスへのフォルダ登録
- ・ 本体で撮影した画像を「Editor」に取り込む
- ・ 画像のお気に入り登録
- ・ 一覧表示中の画像ファイル表示
- ・ 画像情報の表示
- ・ タスクリストへの追加

2-2 分析

- ・ 分析ツール機能
- ・ 画像表示関連
- ・ その他機能
- ・ 温度バー関連
- ・ 保存・レポート

2-3 レポート

2-4 Live

3. 設定

1. ソフトのインストールと起動

本アプリは弊社の製品WEBページからSetupファイルをダウンロードしてインストールすることができます。インストール後は、デスクトップ上に作成されるショートカットアイコンをダブルクリックしてアプリを起動してください。



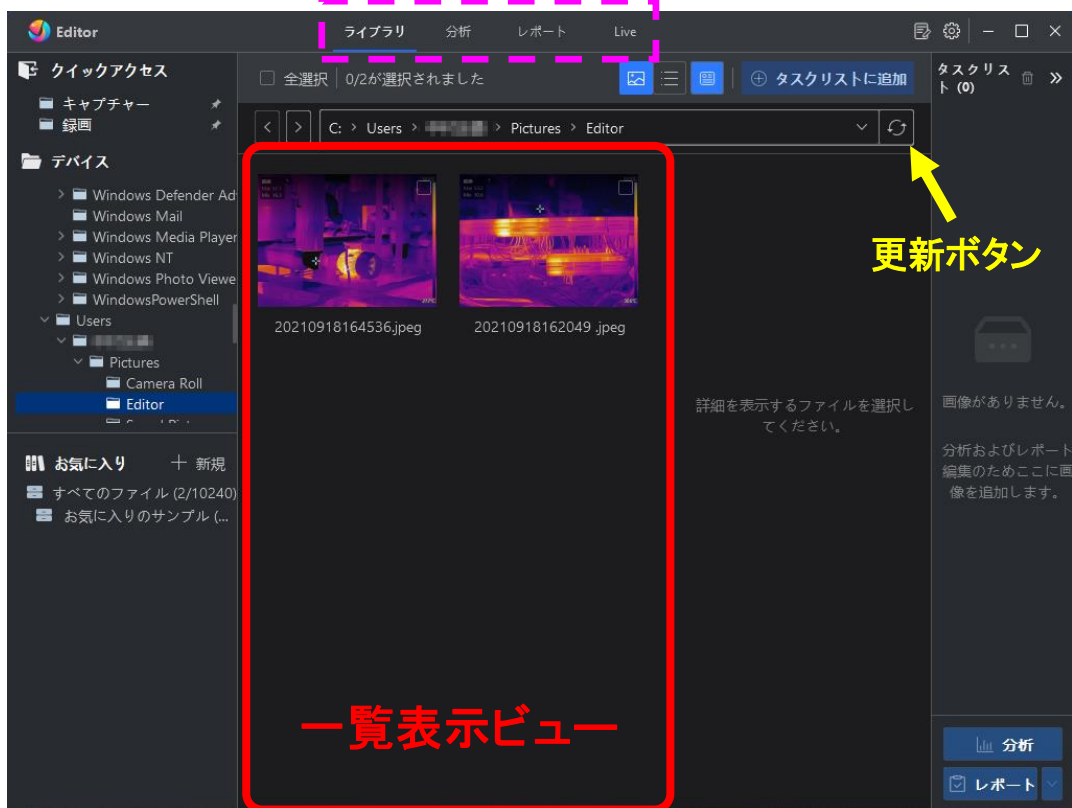
ショートカットアイコン

2. ソフトウェア「Editor」使用方法

「Editor」が起動すると、以下のメイン画面が表示されます。

- ※一覧表示されるフォルダ名やファイル名が実際と異なる場合があります。
- その場合はフォルダパス右側の更新ボタンをクリックしてください。

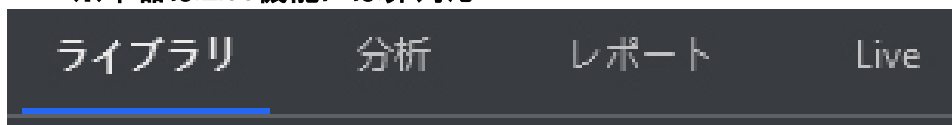
メイン画面



※画面は初回起動時のものです。

Editorは4つの機能で構成されており、メイン画面上部に「ライブラリ」、「分析」、「レポート」、「Live」の4つのタブが表示されています。

※本器はLive機能には非対応



2-1.ライブラリ

ソフトを起動するとライブラリの画面が開きます。初回起動時は既出の画面、2回目以降は前回ソフトクローズ時の作業フォルダが開きます。

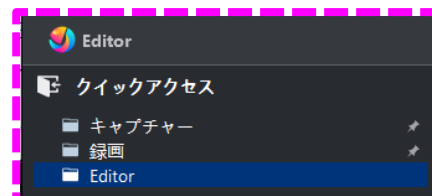
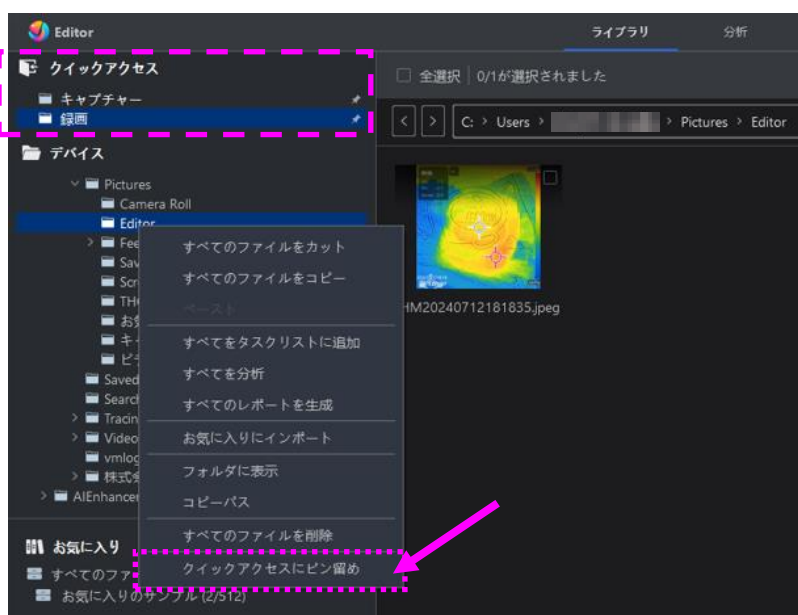
【クイックアクセスへのフォルダ登録】

良く使うフォルダは「クイックアクセス」に登録しておく、すぐにフォルダへアクセスできて便利です。
(登録方法) (例) "Editor"フォルダをクイックアクセスに追加する

1. 画面左側のデバイスツリー内のフォルダ、または、一覧表示ビューに表示中のフォルダを選択します。
2. 右クリックして表示されるメニューから「クイックアクセスにピン留め」をクリックして選択すると上部のクイックアクセス欄にフォルダへのリンクが追加されます。

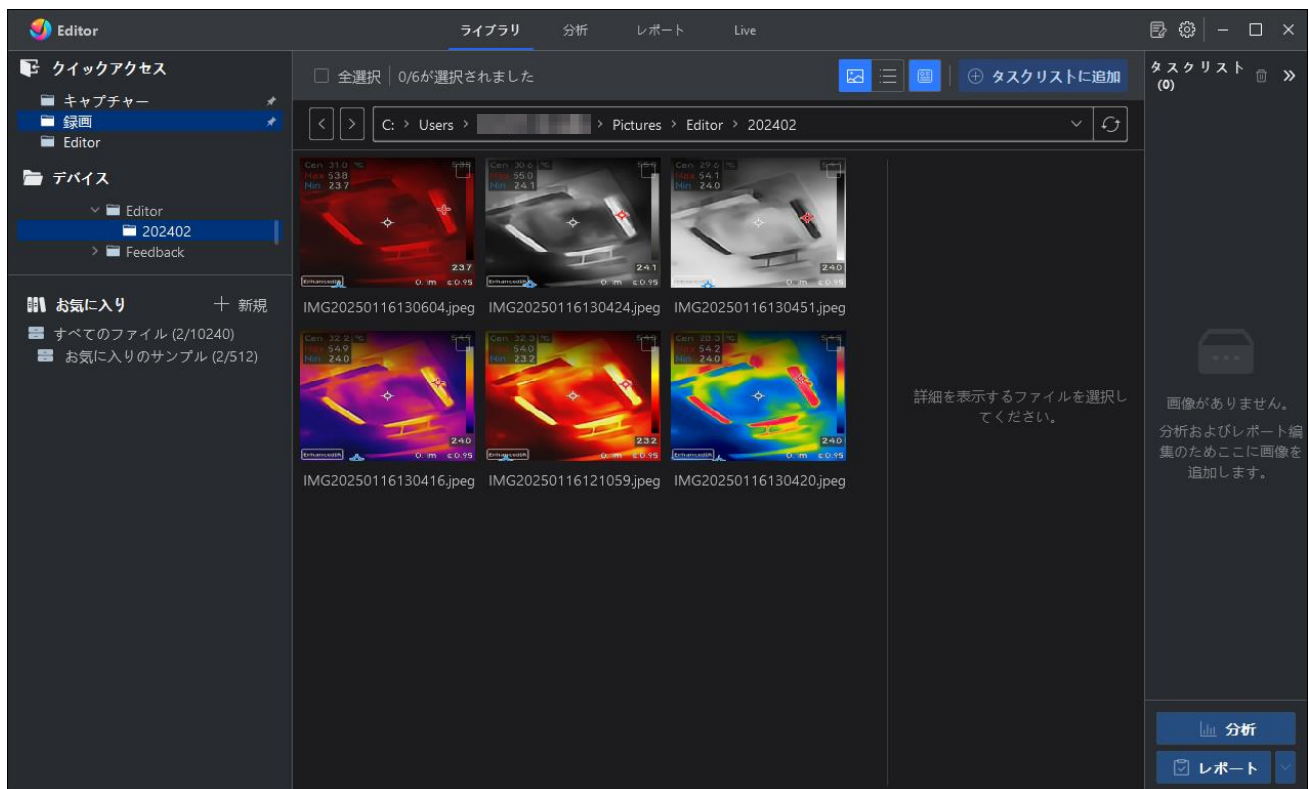
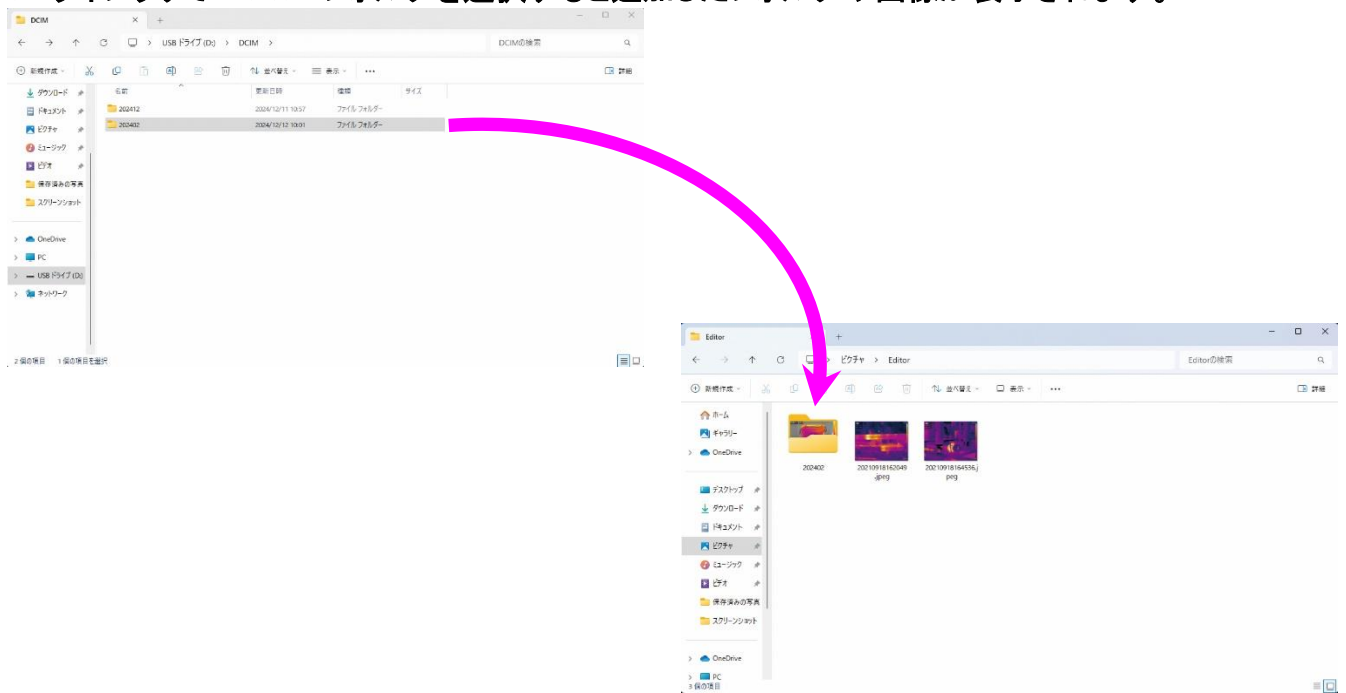
※ピン留めを解除する場合は、クイックアクセス欄のフォルダ名を右クリックして、メニューから

「クイックアクセスからピン留めを解除」を選択します。



【本体で撮影した画像を Editor に取り込む】

- 1- 本体取扱説明書「ファイル移動(USBドライブモード)」を参照して、画像データにアクセスします。
- 2- Editor で使いたいデータを、初回起動時に設定した作業フォルダ“Editor”にコピーします。
- 3- ライブラリで“Editor”フォルダを選択すると追加したフォルダや画像が表示されます。



【画像のお気に入り登録】

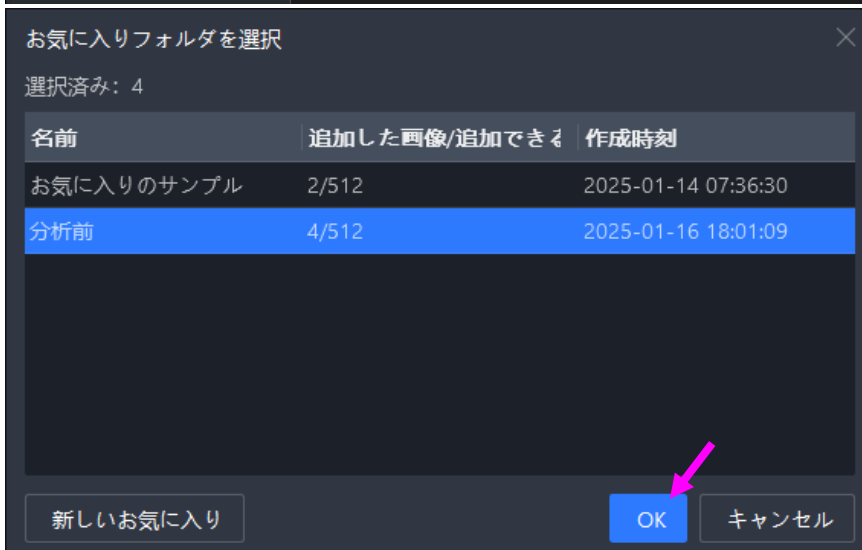
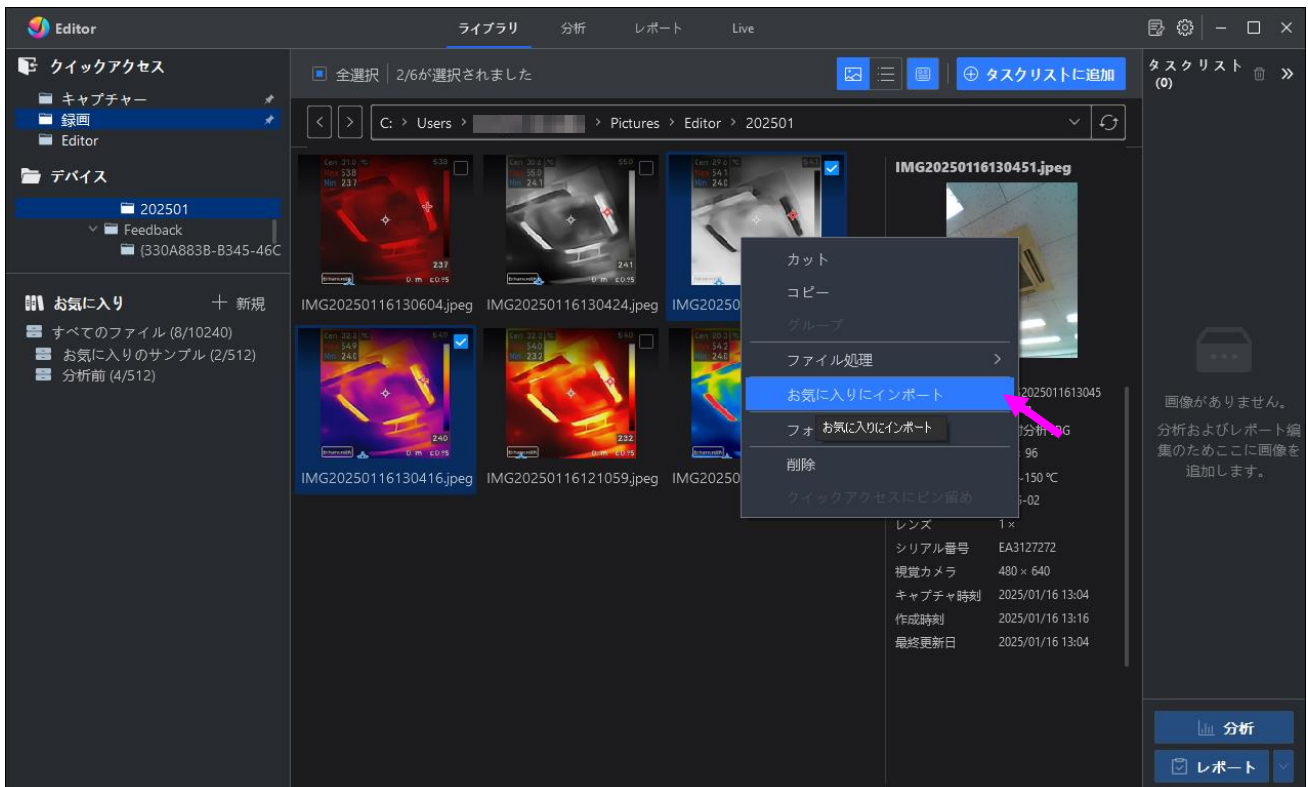
大切な画像(分析処理用、レポート作成用など)をお気に入りに登録して管理することができます。

◆登録方法

一覧表示中の画像から登録する画像を選択した状態(チェックボックスにチェックマークが入った状態)で右クリックメニューから“お気に入りにインポート”をクリックします。クリックすると、追加するお気に入りフォルダの選択画面が表示されます。インポートするフォルダを選択して“OK”を押すと画像が追加されます。

※画像を複数選択する場合は、チェックボックス内をクリックするか、Ctrlキーを押しながら画像をクリックしてください。

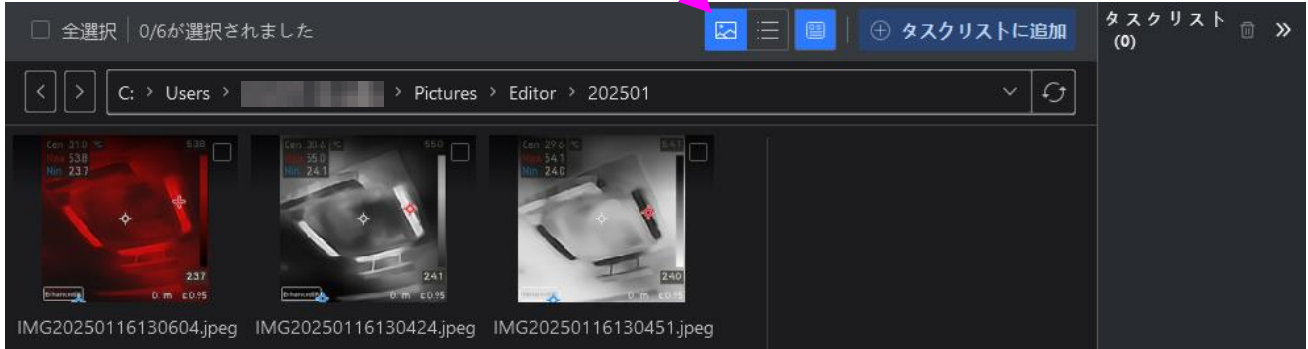
※お気に入りに登録した画像は元画像のコピーが生成されて初回起動時に設定したフォルダ(本マニュアルでは“Editor”)に置かれます。



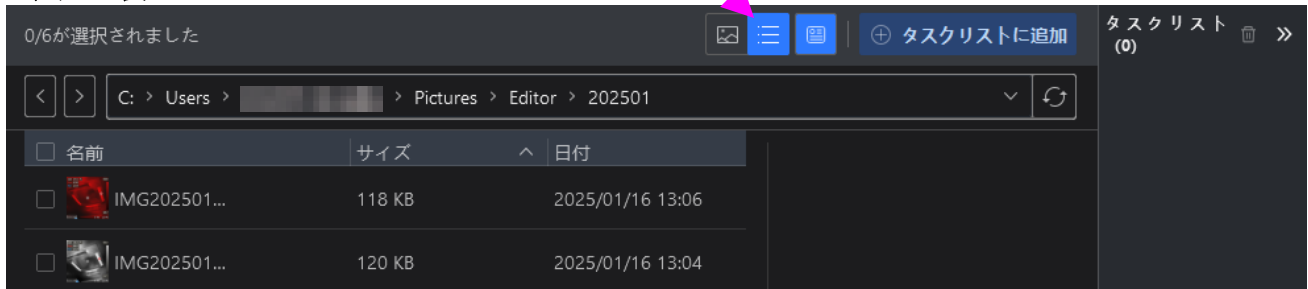
【一覧表示中の画像ファイル表示】

一覧表示ビュー内の画像ファイルは“サムネイル表示”と“リスト表示”を切り替えて表示可能です。

◇サムネイル表示

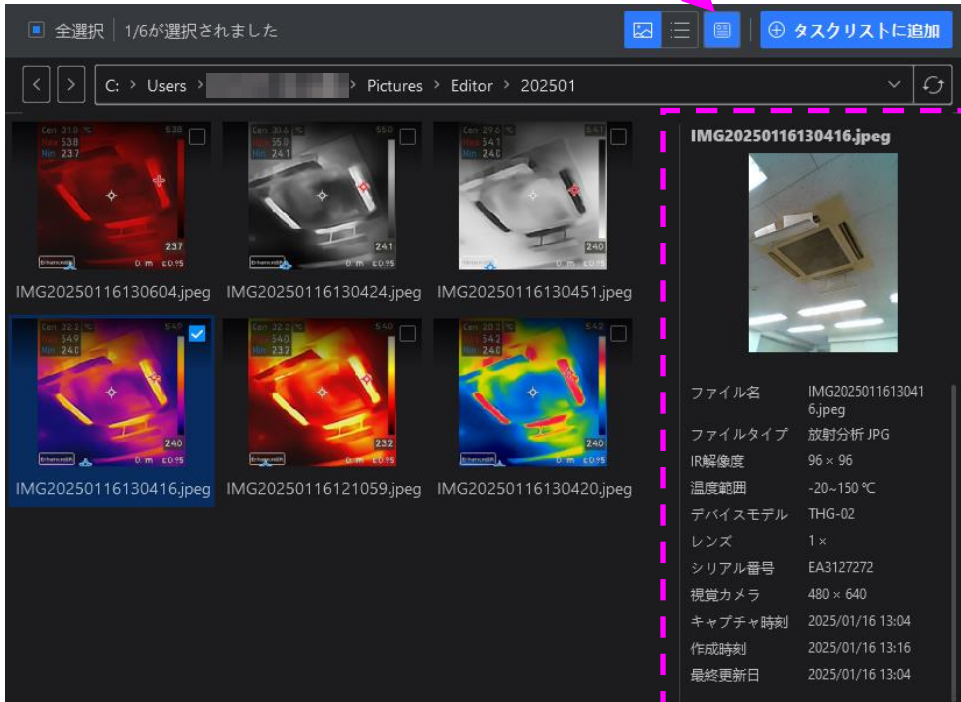


◇リスト表示



【画像情報の表示】

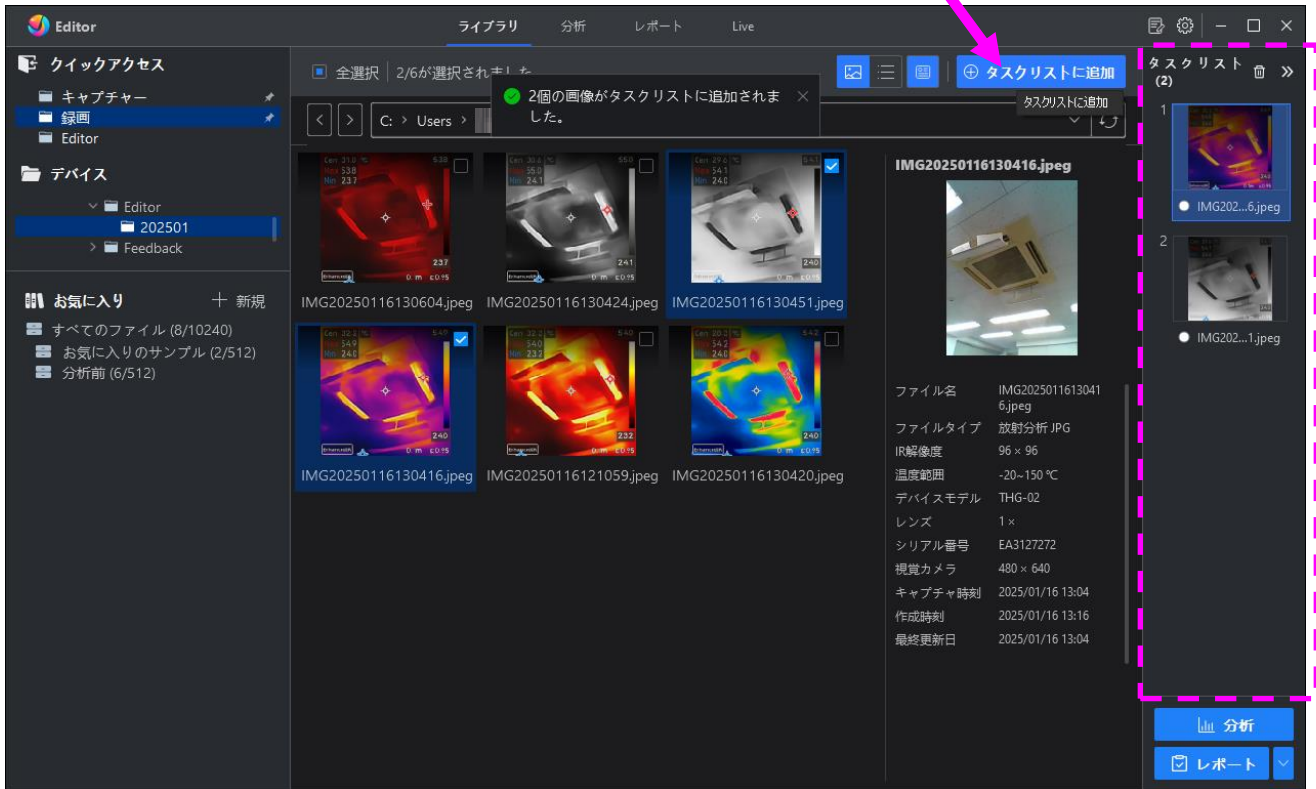
「画像の情報を表示」を選択した状態で画像をクリック(チェックボックス以外)すると右側に選択画像の詳細な情報が表示されます。



【タスクリストへの画像追加】

分析やレポート作成を行う場合には、使用する画像をタスクリストに追加します。

使用する画像を選択した状態で **+** タスクリストに追加 をクリックします。画像が追加されると右側のタスクリスト欄に画像が表示されます。



【分析モードへの移行】

タスクリストに画像が追加されている状態で、「分析」ボタンをクリック **分析** すると分析モード画面が開きます。分析モードの操作方法は次頁以降の **2-2.分析** を参照してください。

2-2.分析

分析モードでは温度情報を持った画像の分析や画像編集が行えます。

【画像の取り込み】













前頁の【タスクリストへの画像追加】を参照して画像を追加するか、または直接、画像ファイルを画面内(タスクリスト、画像表示領域)にドロップしてください。



分析モードでは、温度情報を持った熱画像に対して以下のような機能で加工や編集が可能になっています。

【1.分析ツール機能】

アイコン	名称	説明
	保存	元ファイルを上書き保存します
	名前を付けて保存	分析表示中の画像を別ファイルで保存します
	温度マトリックスを エクスポート	画像内の各地点の温度情報を CSV 形式で出力します
	写真エクスポート	分析表示中の画像を熱画像と可視画像で保存します
	カスタマイズポイント	アンカーを配置した地点の温度を表示します
	ライン	画像内にラインを描き、ライン上のポイントの最高温度、最低温度、平均温度を表示します
	ポリライン	画像内にラインを描き、ライン上のポイントの最高温度、最低温度、平均温度を表示します

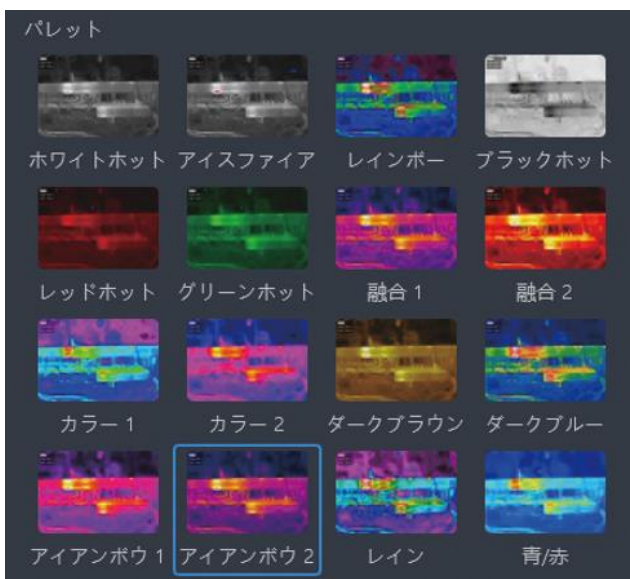
	矩形	
	楕円形	画像内に描いた矩形、楕円形、多角形内の最高温度、最低温度、平均温度を表示します
	多角形	
	デルタ	(最高温度 - 平均温度 or 定温度) などの任意の温度差を名前を付けて表示します。
	削除ツール	画像内に追加した測定ツールを削除します
	測定値をクリア	画像内に追加したすべての測定ツールを削除します
	オーバーレイ コンテンツ表示構成	画像内に表示する最高温度、最低温度、平均温度、中心温度の表示・非表示が設定できます
	高等編集	画像の輝度、コントラスト、鮮明度を変更できます
	表	温度バーグラフの表示・非表示を変更できます
	回転	90° ずつ画像を回転します
	ウィンドウの大きさに合わせて表示	拡大・縮小してズレた画像サイズをフィットさせます。
	ズームイン・アウト	表示画像の拡大縮小を行います

【 2. 画像表示関連 】

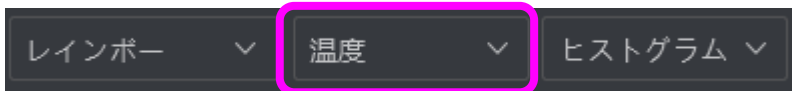
◆パレットの変更



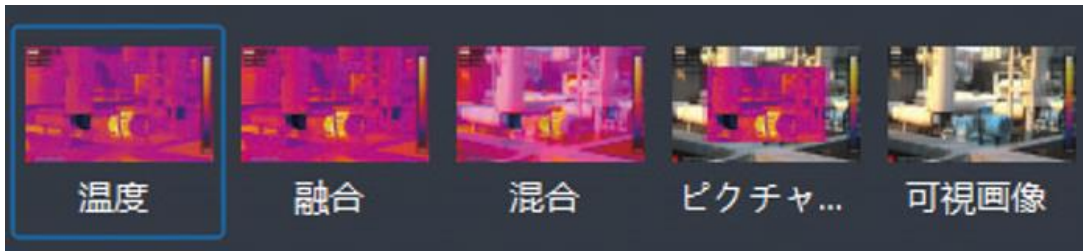
ボタンをクリックすると変更可能なパレット、フォーカス、色アラームのメニューが表示されます。マウスカーソルを各変更オプションの画像に合わせてと画像がプレビューで変化します。クリックして確定すると画像表示が変更されます。



◆画像モードの変更



5種類の画像モードメニューが表示されます。各モードをクリックして選択すると表示中の画像モードが変更されます。



◇温度： 熱画像を表示します。

◇融合： 熱画像と可視画像を重ね合わせて表示します。

(融合アライメントの調整)

クリックすると調整画面が開き熱画像と可視画像の位置とサイズを調整することができます。

◇混合： 可視画像に熱画像を混合して表示します。

(サーマルとビジュアルの均衡)

可視画像と熱画像の混合比率を調整できます。

◇ピクチャーインピクチャー： 可視画像に、より小さい矩形範囲の熱画像を重ねて表示します。

(サーマルビューの調整)

クリックすると調整画面が開き可視画像に対する矩形熱画像のサイズや位置を調整できます。

◇可視画像： 可視画像を表示します。

◆色分布モードの変更



クリックして色分布のヒストグラム表示、リニア表示を切り替えます。

◇リニア表示

温度バーの最高温度、最低温度の範囲で等間隔に色を割り当てます。

◇ヒストグラム表示

熱画像の温度分布の多い温度範囲に色変化を多数割り当てます。

【 3. その他機能 】

◇画像情報

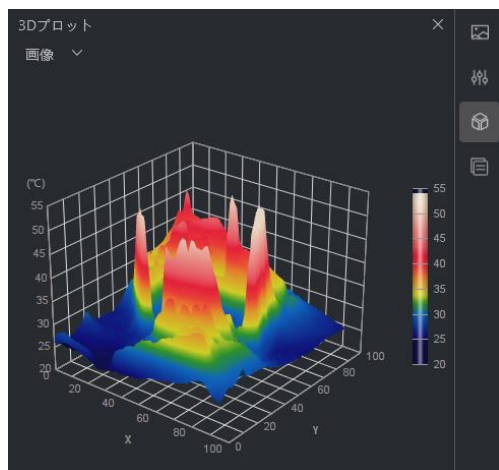
画像ファイルの情報が表示されます。

◇温度分析

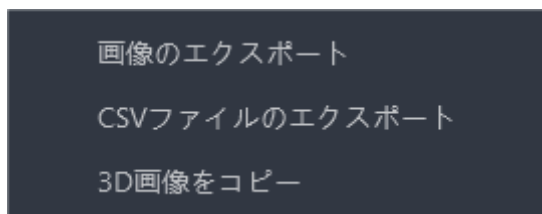
画像に対する設定や環境情報が表示されます。

◇3Dプロット

3Dプロット画像が表示されます。ドラッグしてグラフの向きを回転させることもできます。



3Dプロット画像上での右クリックで以下のメニューも利用可能です。

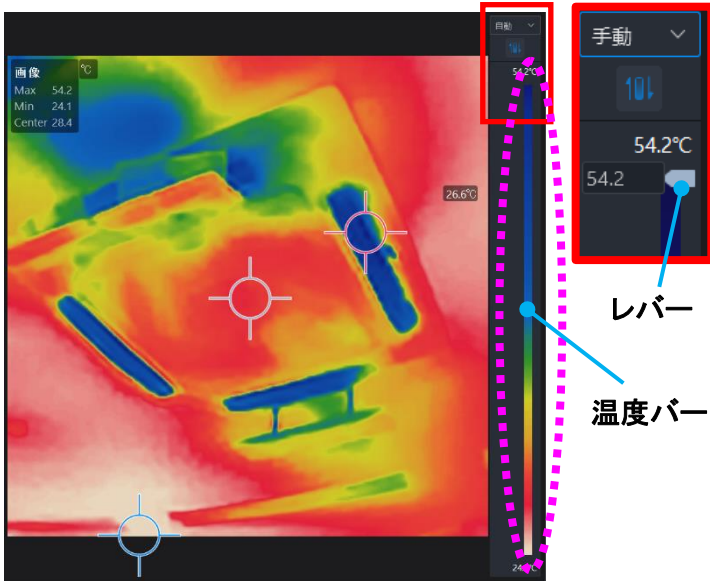


◇注釈

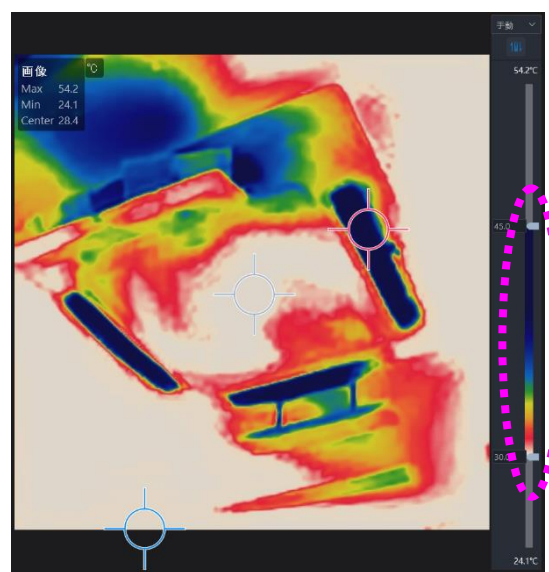
障害率、テキストノート、テキストメモなどを追加することができます。

【 4. 温度バー関連 】

- ① 「自動」・・・ 温度バー表示の上限温度、下限温度が自動で決定されます。
- ② 「手動」・・・ 温度バー表示の上限温度、下限温度を手動でレバーを動かして決定します。



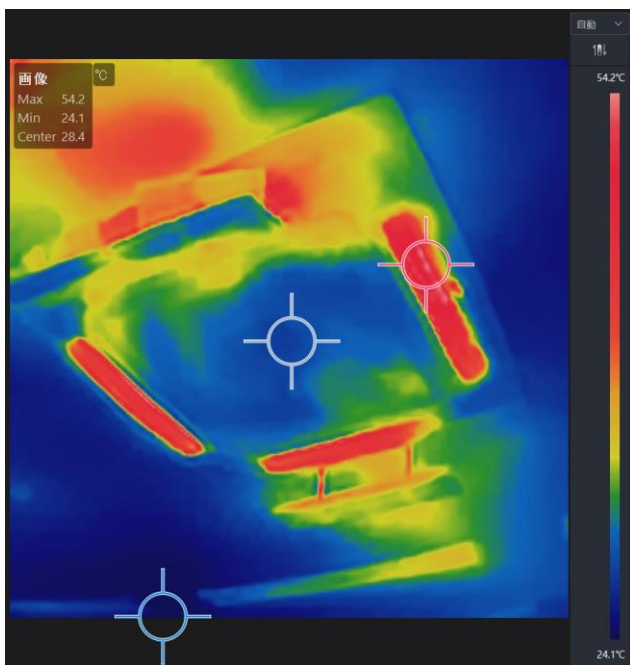
① 自動設定(上限54.2°C、下限24.1°C)の画像



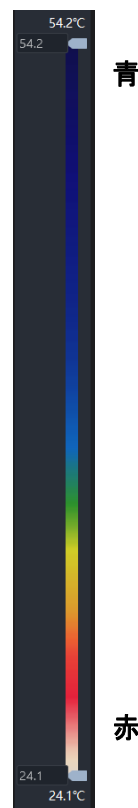
② 手動設定(上限45.0°C、下限30.0°C)の画像

温度バー色分布の反転

温度バーの色分布順が反転します。



③ 上図①画像の色分布順の反転画像




①の温度バー



③の温度バー

【 5. 保存・レポート 】

◆一括保存

 をクリックして以下のメニューから選択します。

- ・名前を付けて一括保存：データをそのまま指定のフォルダに保存します。
- ・一括エクスポート：指定した画像を「熱画像」「可視画像」「フルサイズの可視画像」の3種類の画像から指定してエクスポートします。

◆レポート

レポート作成のテンプレート選択画面に移行します。

 をクリックしてメニューを表示し「一括処理とエクスポート」を選択してクリックします。

クリックするとテンプレート選択ウインドウが表示されます。以降の詳細な操作は、次節の

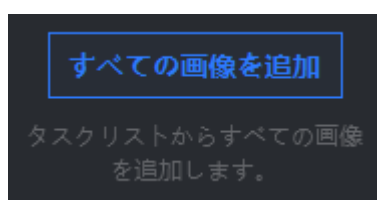
[2-3.レポート](#)を参照ください。

(補足: テンプレートのプレビュー)

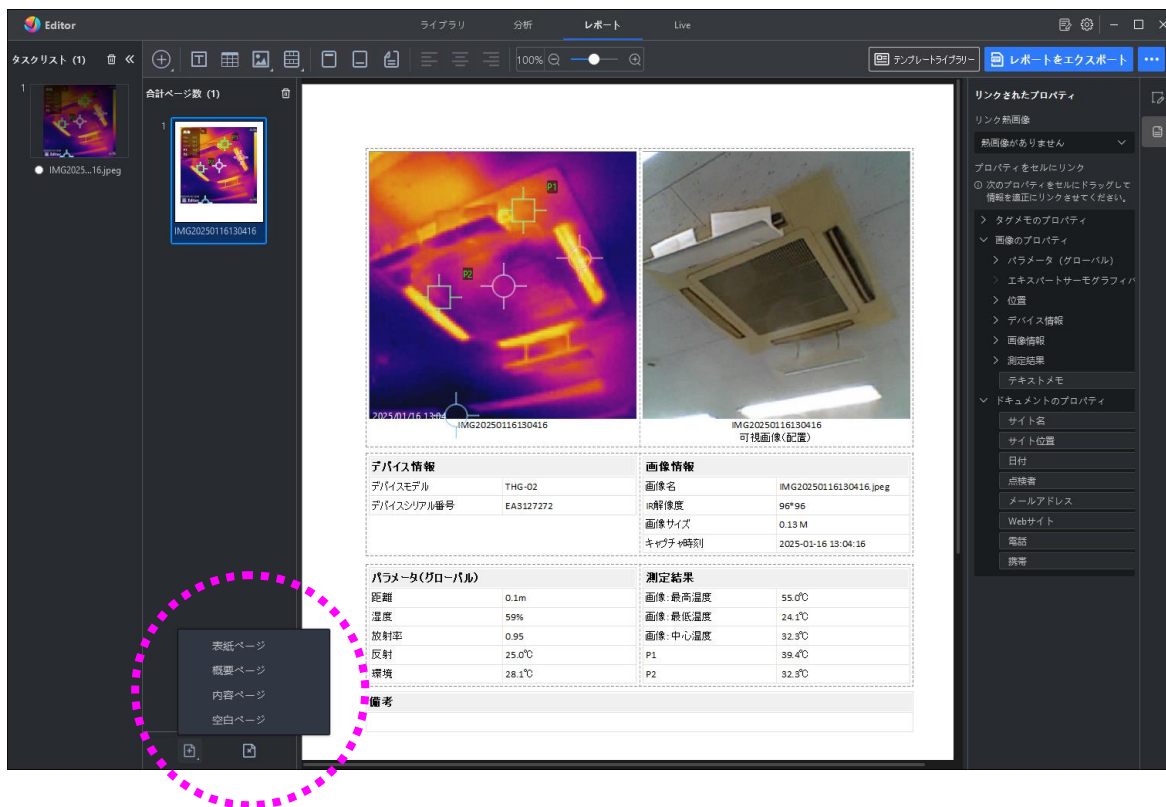
テンプレートは上部右側の **テンプレートライブラリー** をクリックすると、以下のようなウインドウが開きテンプレートごとのプレビューを確認することができます。





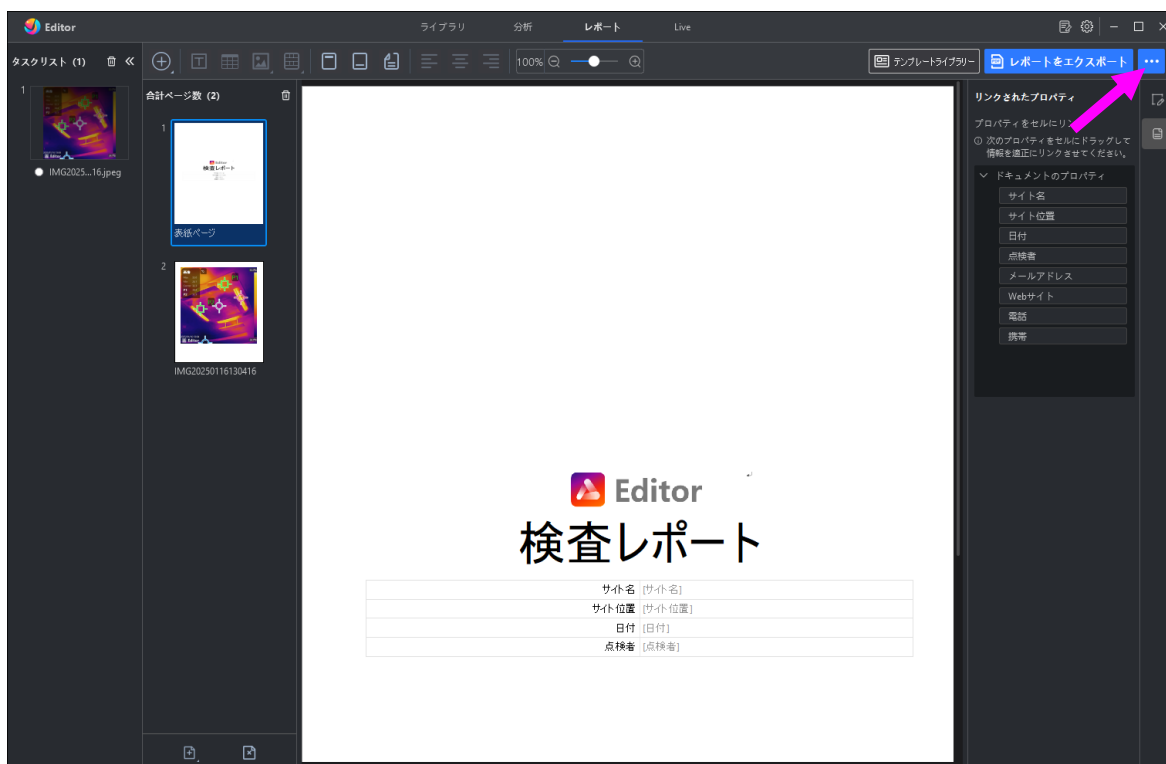
レポート画面が開いたら「すべての画像を追加」をクリックします。




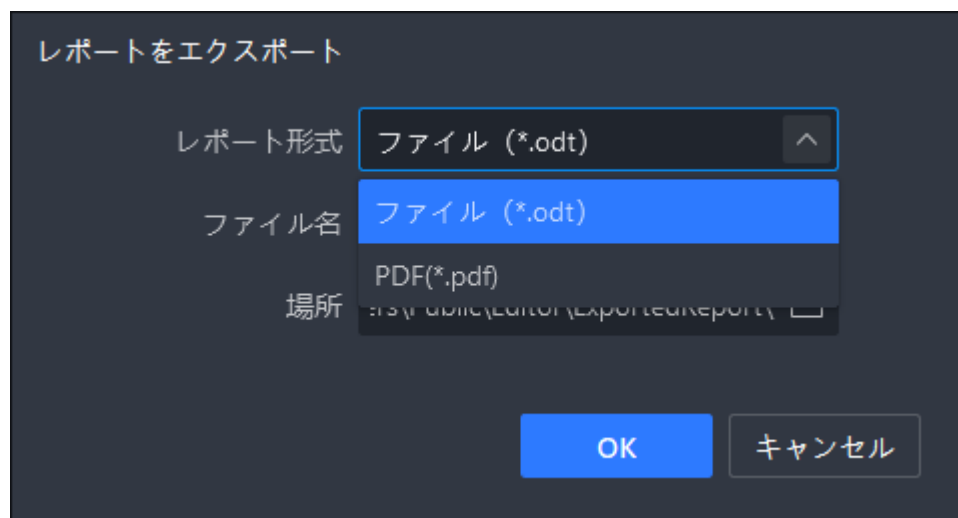
自動的に追加した画像のレポートが作成されます。



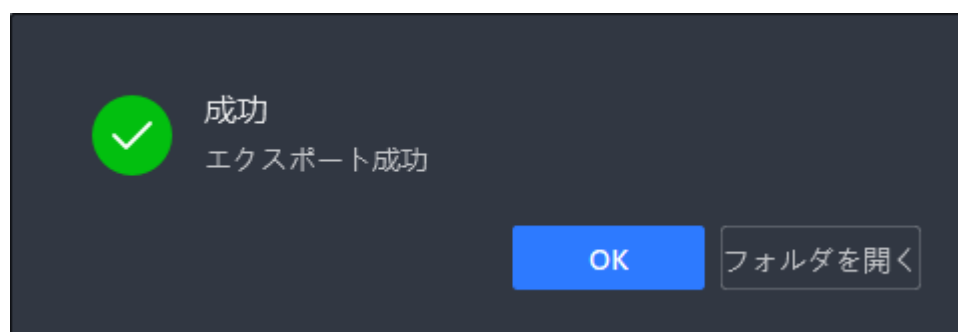
画面下部の「新しいページ」アイコン  をクリックすると表紙ページなど他のページを追加することができます。また、カスタマイズしたフォーマットを今後も使いたい場合などは  をクリックして「テンプレートとして保存」から名前を付けて保存することが出来ます。



レポートが完成したら  レポートをエクスポート をクリックするとエクスポート設定ウインドウが表示されるのでファイル形式(.odt または pdf)、ファイル名、出力先を設定して「OK」をクリックしてください。



出力後「成功」と表示されますので「OK」をクリックして完了してください。出力したレポートを確認する場合は「フォルダを開く」をクリックして出力先のフォルダを開いてください。



2-4.Live

本器はLive機能には対応しておりません。

3. 設定

トップ画面の「設定」アイコン  から画像内表示設定、レポート設定、環境設定などその他の設定を変更することができます。